

そよかぜ 4月園便り

令和5年4月1日（土）

西東京市立そよかぜ保育園

入園、進級 おめでとうございます。

今年度は26名のお友だちを迎え、総勢116名でスタートを切りました。
この一年、皆がどんな物語を紡いでいくのか、今からとても楽しみです。

「これって何だろう?」「どうすればできるかな」「こんなふうにやってみたらどうだろう」「こんなやり方もあるね」等々、それぞれの年令で感じた「不思議」や「やってみたい」をそれぞれの年令で考えたり工夫をしてチャレンジしてみる。上手いかなかったり、「何でこうなるの?」と思ったら、また違うやり方を考えてやってみる…この繰り返しの過程が皆をぐっと成長させるのだと考えます。そして子どもたちが「やった!」「これだ!」と思えた時にパッと花が咲くのです。達成感や満足感、そして自信に満ちた笑顔の花です。

今年度もたくさんの花が咲くように、子どもを真ん中にご家庭と保育園とで寄り添いながら歩みを進めていきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

< お知らせ ～第三者評価のご報告～ >

昨年度は「第三者評価」のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
遅くなりましたが、報告書が出来上がりましたのでお知らせします。

事務所前カウンターに閲覧用ファイルがございますので、ご自由にご覧ください。

4月の行事

日	月	火	水	木	金	土
						1 入園式
2	3 進級を祝う会 0才計測	4	5	6	7	8
9	10	11	12 布団乾燥	13 0才健診	14 5才計測	15
16	17 5才みどり交流 0才計測	18 4才計測	19 2才計測	20 3才計測	21 1才計測	22
23 / 30	24	25 誕生会 避難訓練	26	27	28	29 昭和の日

※4/17『5才みどり交流』: 同法人の“みどり保育園”のお友達と遊びます。また、ピアニスト藤井先生の演奏を聴いたり、伴奏で歌ったりする交流です。

職員紹介

～ 配布した物のみ記載 ～

.....

< 来年度の主な行事予定表 >

※七夕、お月見などを除く

4月1日(土) 新入園児対象入園式	10月30日(月) 鯉祭り
4月3日(月) 進級式	11月18日(土) 親子遊ぼう会①
5月11日(木) 子どもの日の会(鯉つかみ)	12月9日(土) 親子遊ぼう会②
6月10日(土) 親子遊ぼう会	12月25日(月) クリスマス会
7月11日(火) 夏祭り	3月16日(土) 卒園式
10月14日(土) 運動会	毎月:計測、誕生会、避難訓練

※ [] は、保護者参加行事です。

※11/18、12/9の親子遊ぼう会については、対象クラスを分けて実施する予定で、どちらか一方の参加となります 例) ①は乳児クラス、②は幼児クラス など

.....

HPのお知らせ

<https://soyokaze-hoikuen.net/>



園行事の様子は HP 内 Blog を
ご覧ください。

暖かな春の日差しに包まれて、入園・進級の時を迎えました。

装いも新たに 胸一杯の希望と期待、そしてちょっぴりの不安を抱えて出発です。

「たのしい!」「おもしろい!」の 毎日に向けて 出発進行!!

自分の足で歩かせてほしい たとえどんなに遅くても

自分の手でやらせてほしい たとえどんなに傷をつけても どんなに下手であっても

自分の頭で考えさせてほしい たとえどんなに間違っているとしても

その間違いが 必ず 後の育ちに役立ってくれるのだから

齊藤公子 (さくら・さくらんぼ保育園創設者)

齊藤公子先生は「乳幼児の発達の可能性は果てしない」と 人が人間になる大事な時期＝

乳幼児期の保育のあり方を説かれた実践家。保育界を代表する方です。

転んだり、泣いたりするとすぐ抱っこをしてしまいます。

「できない」と助けを求めて来た時、安易に手を貸していませんか？

出来るのに甘えているのかもしれませんが。「一緒にやろうね」の声掛けが、見守られる安心感になり、やってみようと思う気持ちが出来た喜びとなり、成長に繋がっていきます。「まねっこ・まねっこ」しながら「できる!」が増えていきます。「かわいい子には旅をさせよ」なんて言葉もありますが、過干渉・過保護にならないよう、一人一人の育ちに寄り添い、見守り、援助していきましょう。

新年度のお願い

- 1 早起き 気持ちの良い季節、すっきり目覚められる様に。夜更かしは禁物!!
- 2 朝食を食べる 午前中の活動に必要なエネルギーを補給する
- 3 一定時間に登園 みんなで一緒に遊び始められる様に
気持ちよくスタートし たっぷり遊ぶために!!!

令和5年4月から 子ども家庭庁が設置されます。

こどもまんなか社会を目指している子ども基本法が 実効性のある法律となりますように。

職員のつぶやき

幼い頃から遊び心満載な父に連れられて、川遊びによく行きました。

初めは深い川も、見たことのない川虫も怖くて、なかなか慣れませんでした。父が釣り上げたキラキラ光る手の平程の魚を見て、「私もやりたい!」と思うようになりました。餌やウキのつけ方、釣り上げるタイミングなど、実践しながら教わって行きました。

やっとのことで釣りあげた初めての魚は、小指ほどの大きさの小さい魚でした。父は笑っていましたが、いつも姿は見えているけど、早すぎて網では捕まえられない魚が、ご飯粒一粒で釣れたので私は大喜び。川釣りに魅力を感じた私は夏休み中、父を何度も誘って川に遊びに行きました。しかし、学生になってからは忙しく、なかなか川に行くことができませんでした。先日、久しぶりによく遊びに行った川に父と二人で行きました。気持ちのいい風、透き通った水の中にはキラキラ輝く魚たち…

今まで気付かなかった自然の美しさに気付く「大人になったなあ」なんて感じました。釣りも今では父よりも大物を釣れる腕前にまでなりました。次は未だに触れない川虫に挑戦してみます…

羽村たつの子保育園 石塚 葉南